

【森と湖に親しむつどい2006フォローアップイベント・7月26日】

# 人へ 未来へ 接岨湖フェスタ

～水源地の誇りを後世へとつなぐ～



遊歩道には150mを超える長さの流しそうめんが設置され、たくさんの人が舌鼓をうちました。また、小林健

川根本町が主催する「接岨湖フェスタ」が、7月26日、長島ダムふれあい館周辺において開催されました。平成18年7月に開催された全国イベント「森と湖に親しむつどい2006」のフォローアップ事業として開催されるこのイベントは今回で2回目の開催です。



松ぼっくりで何ができる？ 工作教室

この日、長島ダムふれあい館では、来場者が10万人を達成しました。記念すべき来場者10万人目は、静岡市駿河区からお越しの村井善博さんご一家。川遊びに来て、ふれあい館に立ち寄ったという幸運なご家族です。

さんによるトランペットのコンサート、赤石太鼓保存会による勇壮な太鼓の演奏なども行われ、たくさんの方々がアトラクションを楽しみました。



長〜い流しそうめんに舌鼓



接岨湖でカヌー体験を楽しむ



赤石太鼓ジュニアの元気な演奏



小林健さんのトランペットが長島ダムにこだまする



よく狙って！ 割り箸鉄砲に集中する



白旗史朗氏写真コンテストの表彰式

### ←長島ダムふれあい館10万人達成

長島ダムふれあい館は、地域に開かれたダム「長島ダム」を紹介するための資料などを展示する施設です。平成14年5月にオープン、6年と2ヵ月で来館者10万人を達成しました。平成18年に行われた全国イベント「森と湖に親しむつどい2006」以後、名前が知られるようになり、来館者は年々増えていると担当の企画観光課では話しています。写真中央が村井さんご一家、右は杉山町長、左は菊井長島ダム管理所長。